

『オバケ』 作：ポチ子

『オバケ』 作…ポチ子

スポットライトに照らされて、

キラキラ輝くあの子が羨ましい。

私も輝きたいって、

適当なライトを当ててみても、

ぼんやり暗闇に浮かぶだけ。

まるでオバケみたい。

あの子みたく、

立派なスポットライトに当てられれば、

私だって。

ちょっと試しに、

あの子の場所に勝手に立ってみた。

おかしいな、

同じ光のはずなのに、

私はちっとも輝かない。

少しして、

退けろって怒鳴られた。

当たり前か。

あそこは私の場所じゃない。